生ごみ処理機器の購入補助金利用者へのアンケート調査結果報告

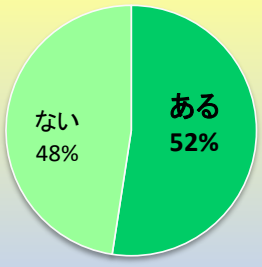
〇調査対象者　生ごみ処理機器購入補助金制度 利用者127名（令和5年4月～令和6年3月申請分）

〇調査期間　令和6年7月1日～令和6年8月31日

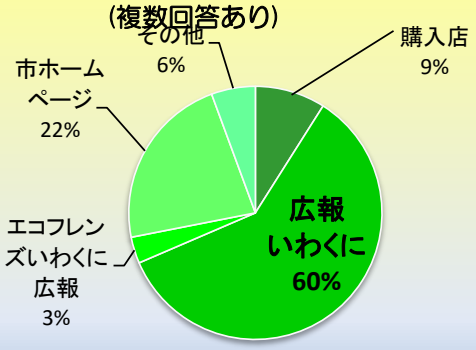
〇回答者数　127名

〇回答率　64.6%

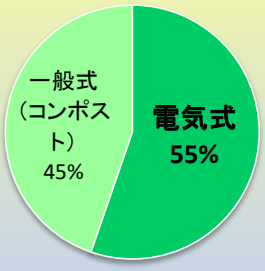
【問1】以前にこの補助金制度を利用したことがありますか。



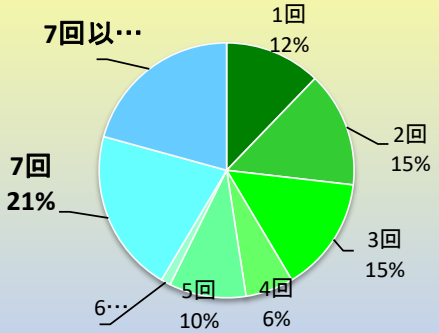
【問2】補助金制度はどちらで知りましたか。（複数回答あり）



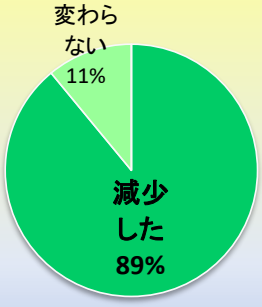
【問3】設置した生ごみ処理機器はどのタイプですか。（複数回答あり）



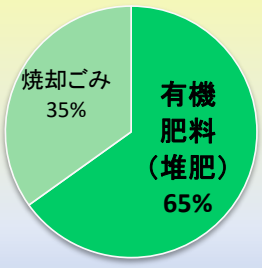
【問4】一週間のうち、処理機器への生ごみ投入回数はどれくらいですか。



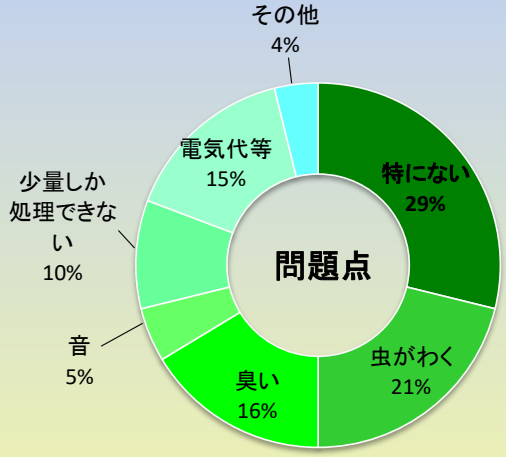
【問5】生ごみ処理機器を設置することで、焼却ごみの排出量は減少しましたか。



【問6】処理した生ごみはどうしてますか。

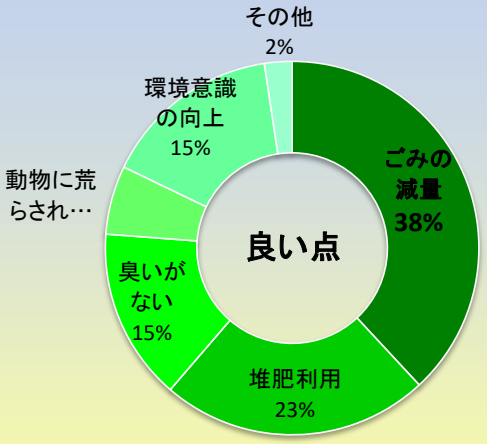


【問７】設置した処理機器の問題点があれば選んでください。（複数回答あり）



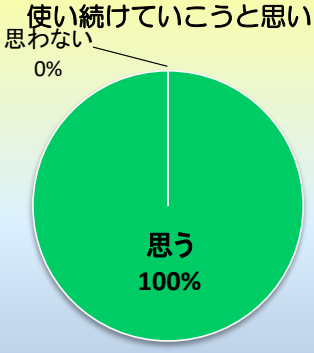
その他
〇堆肥になるまでには時間がかかる。
〇コンポスト（一般式）まで捨てに行くのが面倒。
〇活性炭をこまめに変えなければ臭いがきつ

【問８】設置した処理機器の良い点があれば選んでください。（複数回答あり）



その他
〇生ごみ処理機に入る量が限られているので食
残しや生ごみの量も意識的に少なくなった。
〇害虫がいなくなった。

【問９】今後も生ごみ処理機器を継続して使い続けていこうと思いますか。



生ごみ処理機器、ごみのことについてご意見、ご感想等あればご記入お願いします。
（一例）

〇　生ごみと他のごみに分けられる事で排水口のネバリ・詰まり等が処理機を使う事で軽減され流し台を使うのが楽になった。
〇　夏場の生ごみに悩まされていましたが量も減り、臭いも気にならなくなり大変良かった。
〇　高価な買い物なので補助金制度が無かったら買わなかったかなと思う。買ってごみも減り臭いも無くなり助かっている。
〇　臭いやごみの重さが減って助かっています。スイカの皮や魚介類など、ごみの始末を考えるのが憂鬱だった食材も処理機がある
〇　電気式を購入したが小さく考えてた量を処理できない。大きい電気式処理機は高価で補助金があっても買えない。